

平成31年度 若年技能者人材育成支援等事業推進計画

京都府地域技能振興コーナー

若者のものづくり離れ・技能離れが見られる中、若者が進んで技能者を目指す環境の整備、産業の基礎となる高度な技能を有する技能者の育成が大きな課題となっている。このため、若年技能者人材育成支援等事業を推進することにより、技能尊重気運醸成を図るとともに、ものづくりマイスターの活用による「ものづくりの魅力」発信と若年技能者の人材確保・育成を行う。

また、ITリテラシーの強化やIT人材の育成に向けて、ITマスターの活用による「ITの魅力」発信等を行う。

1 地域における技能振興

京都の産業を担う「ものづくりの技術・技能」への関心を高めるための取組を行う。

- (1) 技能五輪全国大会の予選の実施
- (2) 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援
- (3) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組
 - ① 「京都ものづくりフェア2019」等の開催
 - ② ブロック単位の技能競技大会展・技能士展の実施に際しての協力
 - ③ 生産性・品質向上のためのITの活用を図る企業の好事例発表及び意見交換会の実施
 - ④ 「地域発! いいもの」応援事業及びグッズスキルマーク事業の実施

2 ものづくりマイスター・ITマスターの認定及び活用

ものづくりマイスター・ITマスター制度の周知を図り、その掘り起こしにより認定に努めるとともに、これらを活用した若年技能者の人材育成等に繋げる。

(1) ものづくりマイスター・ITマスターの派遣による実技指導

中小企業や工業高校からのニーズに対応した最適のものづくりマイスターを選定し、中小企業や工業高校に派遣し、学生や若年技能者に対して、現場で通用する技能・技術の基礎を中心とした実技指導を行う。また、中小企業等からの要請を受けて、情報技術関連の優れた技能を持つ技能者をITマスターとして派遣してIT技術を活用した生産工程の効率化による生産性向上のための指導を行う。

(2) 「目指せマイスター」プロジェクトの実施

小中学校からの要請に基づいて、ものづくりマイスターを小中学校の授業等へ派遣して、児童・生徒・教師・保護者を対象にものづくりの歴史等の講義とものづくり体験教室の実施により、ものづくりの魅力を発信する。

(3) 「ITの魅力」発信等

児童・生徒を対象としたITマスターの持つ高度な技能とプログラミング等のIT技能に関わる楽しさを伝え、「ロボットプログラミング」講座等の取組みにより、IT技術への興味を喚起する「ITの魅力」発信講座を開催する等、ITリテラシーの強化や将来のIT人材育成に向けて、小学生から高校生に対してITマスターを派遣する。

3 連携会議の開催について

本事業の実施と進捗状況の管理等のため、教育委員会・経済・労働関係団体等を構成員とする連携会議を開催（年2回程度）する。